

事業実績シート（研修及び調査・研究）

1 事業の概要

協会事業名	<input type="checkbox"/> 研修機関派遣事業（ <input type="checkbox"/> 市町村アカデミー <input type="checkbox"/> 国際文化アカデミー <input type="checkbox"/> NERC） <input checked="" type="checkbox"/> 地方4団体研修及び調査・研究事業			
自治体(団体)事業名	長崎県町村会 町村職員特別研修			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	長崎県町村会	総務課	福田 泰寛	095-827-5511
事業期間	開始年	平成21年4月 日（10年目）		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[]			
実施期間	（開始日）31年1月15日 （完了日）31年1月16日			
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	（委託内容）			
研修及び調査・研究の目的 ※実施前に予想していた目標・目的を記載ください。	対象(誰を・何を)		目標・目的	
	長崎県内8町職員		行財政の効率的な運営及び地域の活性化を図るため、他県の先進的な事例の調査研究を行う。	
研修及び調査・研究の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように記載してください。	「町村職員特別研修事業」 1. 事業内容 <input type="checkbox"/> 徳島県神山町 NPO法人グリーンバレー ・ サテライトオフィス誘致 ・ 創造的過疎に関する取組 等 2. 参加者 町職員8名、事務局2名			
研修及び調査・研究の背景、これまでの経緯及び現状	（事業開始の背景）			
	町が抱えている諸問題を解決するための調査・研究			
	（経緯・現状）			
	直接、現地を訪問し、他県の先進的な事例を調査研究する。			

事業実績シート（研修及び調査・研究）

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算				
事業費（円）		1,263,898 円	1,204,810 円	659,270 円				
(財源内訳)								
	823,017 円	782,480 円	823,017 円	449,013 円				
	440,881 円	422,330 円	440,881 円	210,257 円				
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方	単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	参加職員数	8 町全参加により、情報を共有化し、町勢の行財政運営の効率化に活かす。		目標	8	8	8
					実績	12	11	8
					目標達成率 (%)	150	137.5	100
	②				目標			
					実績			
				目標達成率 (%)				

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 実施することによるメリット
	<p>(内容、程度等)</p> <p>先駆的に取り組まれている事業について、そのメリット、デメリットを把握でき、今後導入されるにあたって有意義で効果的な情報収集の場であると考え。</p> <p><NPO 法人グリーンバレー></p> <p>○大南信也氏による講演「神山プロジェクト～創造的過疎から考える地域の未来～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンバレーの方針としては、過疎化の現状を受け入れ、数ではなく、過疎の中身を改善するという「創造的過疎」の方針で事業を進めている。この点が他の過疎地域との大きな違いであり、地域活性化の成功に至った要因の一つである。 ・芸術家のようなクリエイティブな人材を誘致したことにより、新たな分野のクリエイティブな人材の誘致に成功している。起業家や芸術家・著名人などの、多くの繋がりを持った人材の誘致も移住者促進の一つの手である。 ・過疎地域に移住者が来ない大きな原因として、雇用がないことが挙げられる。その中で神山町は、職を持った人材の誘致「ワークインレジデンス」を行っている。この考え方は多くの過疎地域での移住者促進政策の鍵になる可能性がある。 <p><サテライトオフィス></p> <p>○現地視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町に光ケーブルを通したことによりネットを高速で使うことができる環境が整っていた。 ・職員がストレスを感じることなく、のびのびと仕事を行っている姿が印象的であった。 <p>これらの施策及び現状を学ぶことにより本県町村の振興に資するものである。</p>

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	（１）目標（目的）指標の達成状況	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
実現性の点検	（２）実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由	
	全町職員が参加し、有意義な情報収集、共有化を図ることができたため。	
実現性の点検	（１）事業への反映	（具体的内容）
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	先進地を訪問し、事業をスムーズに導入できる。
	（２）公共性の評価	（具体的内容）
	本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	先進的な福祉事業について他県の施策を視察することにより、参加町の施策に還元することで、地域活性化を図り、住民の暮らしの向上を図ることができる。

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	■現状維持
実施予定時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		■現状維持
実施予定時期					
実現性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		■現状維持
実施予定時期					
具体的内容					